

報告書抄録

ふりがな	京都府遺跡調査報告集
書名	きょうとふいせきちょうさほうこくしゅう
副書名	
巻次	第174冊
シリーズ名	京都府遺跡調査報告集
シリーズ番号	第174冊
編著者名	岡崎研一・筒井崇史・山崎美輪・渡邊拓也・桐井理揮
編集機関	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
所在地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番03 Tel. 075(933) 3877
発行年月日	西暦2018年3月31日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m ²	
しもみずしいせき 下水主遺跡第6 ・9次	きょうとふじょうよう うしてらだかなお・ いまばし 京都府城陽市寺 田金尾・今橋	26207	88	34° 50' 51"	135° 45' 43"	20140409 ～ 20150306	15,510	道路建設
みぬしじんじゃひがし いせき 水主神社東遺跡第 6・7次	きょうとふじょうよう うしてらだかなお 京都府城陽市寺 田金尾					20150518 ～ 20160205		

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下水主遺跡6・9次 水主神社東遺跡 6・7次	集落跡 生産遺跡	弥生～中世	鳥畑・土坑・柱穴・溝・ 流路	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 石器・土偶・木製品	

所収遺跡名	要 約
下水主遺跡第6・9次 水主神社東遺跡第6・7次	<p>上層では中世の鳥畑を検出し、現在の水田畦畔が、造成当初の鳥畑の位置をおおむね踏襲していることが確認できた。中層では古墳時代前期の溝や弥生時代の土坑・溝などを検出した。古墳時代の溝からは用途等は不明ながら「方形組み合わせ木製品」と仮称した木製品が出土した。また、弥生時代の溝や土坑は調査地の北半部にまとまって存在することから周辺に集落の存在が予想される。下層では、調査地の北半部で、「氾濫流路」と呼ぶ洪水痕跡を確認し、その堆積土から大量の縄文時代晩期の土器が出土し、やはり調査地周辺に集落の存在が予想される。また、同じ氾濫流路から、関西では類例の少ない遮光器系土偶の破片が出土した点は特筆される。</p>